

# WUTHERING HEIGHTS

E・ブロンテ作「嵐が丘」より  
吉田喜重 脚本・監督作品

製作 ■ 高丘 季昭  
総指揮 ■ 山口 一信  
製作 ■ F. von BUREN  
撮影 ■ 林 淳一郎  
音楽 ■ 武満 徹  
美術 ■ 村木与四郎  
衣裳 ■ 山田 玲子  
西友創立25周年特別企画  
西友・西武セゾングループ  
MEDIACTUEL提携作品

女の恋は嵐 男の愛は夜叉 凄まじくも美しく

松田 優作  
田中 裕子  
名高 達郎  
石田 えり  
萩原 流行子  
伊東 雅也  
高部 知子  
高尾 雅人  
三國 連太郎



6月全国東宝洋画系ロードショー

WUTHERING HEIGHTS

# 嵐が丘

E・ブロンテ作「嵐が丘」より  
吉田喜重 脚本・監督作品

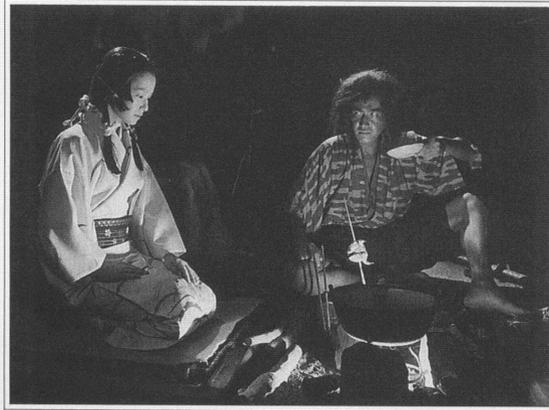


## 【解説】

エミリー・ブロンテの名作文学「嵐が丘」が名匠・吉田喜重監督の構想30年のライフワークとして、ついに映画化された。「リア王」「白鯨」と並び世界三大悲劇の一つに挙げられる原作は、ウィリアム・ワイラーやルイス・ブニエルの手でこれまでにも映像化されているが、今回は壮大なラブ・ストーリーを丸ごと余す所なく描出した完全映画化である。斬新な映像美と官能的な作風で知られる吉田監督は、大胆にも舞台を日本の鎌倉・室町期に置き換え、そこに地獄の炎に燃えさかるような凄まじい恋愛絵巻を展開させた。造形の妙を凝らした重厚なセット、中世の美を織りなした数々の衣裳、阿蘇や富士の裾野でのダイナミックなロケーション：など、一流のスタッフが技の粋を極め、投げられた製作費は15億円、まさに恋愛巨篇の名にふさわしいスケールである。

そして、キャストには現在第一線で眩いばかりに感性を発光させている豪華な顔ぶれが集結した。原作のヒースクリフ、キャサリンを鬼丸、絹というキャラクターに置き換え、松田優作、田中裕子が死を賭した究極の愛の姿を憑かれた如き演技で表現する。その情念の烈火をさらに圍りから煽りたてるのは、三國連太郎、名高達郎、石田えり、高部知子、古尾谷雅人ら個性あふれる実力派。愛憎がきしみをあげる狂美の世界は激しい息づかいを放ち、ドラマに熱い血をたぎらせるのだ。

本作品は、むせ香るエロスの美学を築きながら、理性を踏みにじることさえ辞さない本物の恋愛を謳いあげている。英国から



日本へ――、時空を越えてなおも変わらぬ性の真実は、映画の奇跡によって現代を挑発するのだ。

## 【物語】

荒神が嶽の一角に居を構え、火の神を祀る山部一族。その当主・高丸は、都から異様な風貌の童児を連れ帰る。その子は鬼丸と名づけられ、下男として一家に仕えることになった。高丸には秀丸、絹という一男一女があった。兄の秀丸は鬼丸とことごとく反目するが、妹の絹は鬼丸を実の兄のように慕い、二人は幸福な幼少年期をともに過ごす。

やがて鬼丸、絹、秀丸はそれぞれ青年期を迎える。父の愛を得られぬ秀丸は館を出奔。絹は一族の掟に従い、都に行き、巫女となるべき自らの運命を知る。だが愛する鬼丸と離れたくない絹は、一計を案じ、同じ荒神が嶽に住む山部一族の縁者、西の莊の光彦のもとに嫁ぐことを決意する。その決意を打ち明けられた鬼丸は、激しい嫉妬の念を露わにする。絹は二人の愛は変わらぬと鬼丸をなだめ、光彦との婚姻の前夜、二人は初めて互いに体を重ねる。

絹が光彦のもとに嫁入りした後、その父・高丸は逝去。鬼丸は都の戦いで勲功をあげ、荒神が嶽の統治権を得て、戻ってきた。その間に絹は光彦との間に女兒を設ける。その子は母と同じく絹と名づけられた。だが産後の日だちが悪く、母の絹は病に伏せてしまう。それを知った鬼丸は、絹を死なせれば復讐すると光彦を脅す。その様子を見た光彦の妹・妙は、危険を感じるとともに鬼丸の野性に強く惹かれてゆく……。



製作総指揮  
■高丘 季昭

製作  
■山口 一信  
F. SCHEUBEN

撮影  
■林 淳一郎

音楽  
■武満 徹

美術  
■村木与四郎

衣裳  
■山田 玲子  
千代田きのこデザイン室

西友創立50周年特別企画  
西友・西武セゾング  
LIFE MEDIA  
CTUEL提携作品

配給・東宝

製作  
■松田 優作  
■田中 裕子  
■名高 達郎  
■石田 えり  
■萩原 流行  
■伊東景衣子  
■高部 知子  
■古尾谷雅人  
■三國連太郎